



研修医日記

作成者：小川 稜貴（1年次）

初夏の風にすがすがしさを感じる季節となりました。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

さて、私は先日むつ総合病院内の野球チーム「むつ病 Bears」さんからお誘いを受け、県南公立病院親睦野球大会のほうへ参加させていただきました。大学では野球部に所属し、コロナ禍で思うような活動ができない時期もありながらも完全燃焼したつもりではありましたが、まさかこんなにも早く再びユニフォームに袖を通す機会が訪れるとは思っていませんでした。

試合の方では僭越ながらピッチャーを務めさせていただきましたが、事前にあまり練習をしておらずblankもあつたため試合が始まるまではとにかく不安でした。しかしいざマウンドに上がると程よい日差しの暑さ、相手打者の足場をならす仕草、目の前に見える青いキャッチャーミット…、現役時代の感覚が一気に蘇りすんなりと勝負モードに入ることができました。試合は周りの守備にも助けられ、打線の繋がりも良く、初戦、決勝戦ともに快勝し優勝することができました。

自身の感想としましては久々に野球ができて楽しかったのは勿論ですがとにかく疲れました…。特に打席に入るとランナーをやるのがしんどかったです。というのも大学時代はDHがありピッチャーの自分はほとんど打席に立つことがありませんでした。投げて打って走って、それをメジャーの世界で当たり前のようにこなす大谷翔平選手の偉大さを身をもって実感することができました。

そして7月、8月には日本病院懇親野球大会という青森県全体の大規模な野球大会があるようです。それまでに少しでも現役時代の感覚を取り戻せるように、時間を見つけてトレーニングに励みたいと思います。むつ病院の関係者及びこの日記をご覧になった皆様、むつ病 Bears の応援をよろしく申し上げます。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。